

ハボローネ2026ワールドリレーズ日本代表選手選考要項

1. 編成方針

北京2027世界陸上競技選手権大会の出場権獲得、および、世界選手権においてメダル獲得のため、戦略的に選手団を編成する。

2. 開催地

ハボローネ（ボツワナ）

3. 開催時期

2026年5月2日（土）～5月3日（日）

4. 派遣基準

編成方針に基づき、以下の基準を満たした種目を派遣する。

(1) 男女4×100mリレー、男女4×400mリレー

世界リレー候補選手標準記録*を満たした4名以上を含むメンバーでチーム編成できること。

(2) 男女混合4×100mリレー、男女混合4×400mリレー

世界リレー候補選手標準記録を満たした男女各2名以上を含むメンバーでチーム編成できること。

※世界リレー候補選手標準記録の有効期間は2025年1月1日～2026年4月5日までとし、WRk対象競技会での記録とする。各リレー種目における対象記録は別紙参照。

5. 選考基準

編成方針に基づき、以下の対象選手より日本代表選手を選考する。

- ・世界リレー候補選手標準記録を満たした、ワールドランキング上位の競技者。
- ・リレーの特性を考慮して、強化委員会が推薦する競技者

6. 選考方法

強化委員会の選考会議にて選考原案を作成し、専務理事の承認を経て決定する。

7. その他

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はワールドアスレティックスが定めるエントリー数の上限の枠を保证するものではない。
- (2) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。

本連盟が定める日本代表選手等に関する規程（参考）：

- ・[日本代表選手等の肖像等に関する規程](#)
- ・[日本代表選手等の公式衣類に関する規程](#)
- ・[日本代表選手等に関する行動規範](#)

- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。

- 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
- 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
- 3) 前記（2）を遵守しない場合

- (4) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。

- (5) リレーの代表選手は、強化委員会が特に認めた場合を除き、リレーの準備のために強化委員会が計画する遠征、競技会及び合宿に参加する義務を負うものとする。
- (6) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。
- (7) 本大会において、北京2027世界陸上競技選手権大会の出場権を獲得できたとしても、北京2027世界選手権のリレーにおける選考には関与しないが、愛知・名古屋2026アジア競技大会でリレーを派遣する場合は、本大会で北京2027世界陸上競技選手権大会の出場権を獲得した種目に派遣されたメンバーから選出する。ただし、第110回日本陸上競技選手権大会の決勝進出者を対象とする。

世界リレー候補選手標準記録

(有効期間:2025年1月1日～2026年4月5日)

男子	種目	女子
100m:10.17 200m:20.46 60m(ショートトラック):6.61	4×100mリレー	100m:11.38 200m:23.16 60m(ショートトラック):7.30
400m:45.70 300m:32.32 200m:20.57※ 400m(ショートトラック):46.63	4×400mリレー (混合含む)	400m:52.71 300m:37.37 200m:23.35※ 400m(ショートトラック):53.61

※4×400mリレーの特性を考慮した選考を行うため、200m については設定記録を満たした場合でも候補に選考されない場合がある